

上田 勉

新年明けましてお目出とうございます。今年も拙い「双葉通信」をよろしくお願い致します。早く駆け抜けた去年1年間、いろいろなことがありました。

*国連総会の核兵器禁止条約で、日本は核兵器の禁止に反対を投票

去年10月の国連総会第1委員会の核兵器禁止条約の採決で、唯一つの被爆国である日本が反対投票をして、世界中に驚きが走りました。また、オバマ大統領が提唱した米国が核兵器を先制使用をしない宣言について、安倍自公連合政権は反対して、核兵器を先制使用して、相手国の市民を殺戮することを容認しました。この原子力の戦争への利用（積極的平和主義）に対して、被爆者は勿論、原子力の平和利用に一生を奉げた、湯川秀樹・朝永振一郎・坂田昌一等の科学者達は、天国で怒り心頭に達していることと思います。

*参院選で野党統一候補が善戦！ 鹿児島県と新潟県で原発再稼働反対の知事誕生！

6月の参議院選挙では、東北6県で野党統一候補が5勝1敗。岩手県と宮城県では被災者に寄り添わない復興にNO。福島県では、原発再稼働を推進する現職閣僚（岩城法務大臣）を落選させました。また、鹿児島県知事選では三反園訓（みたぞのさとし）、新潟県知事選では米山隆一の原発再稼働反対の知事が誕生しました。このように、市民と野党が統一すれば、一強の自民党に勝てることを証明しました。

*檜葉町 避難指示解除して1年4カ月、帰還した町民は約1割

私は去年3月に、3年2カ月従事した気仙沼市を退職して、檜葉町で仕事をするようになりました。檜葉町は、山あり川あり海ありののどかな田園地帯です。15年9月に、避難している自治体では初めて、全町で避難指示が解除されました。しかし、去年12月現在で、約1割の町民しか帰還していません（議員・行政区長・役場職員の大部分が帰っていない）。去年12月に最初の災害公営住宅（津波被災者向け）15戸が完成して、鍵の引き渡しが行われました。原発被災者の多くは、いわき市と会津美里町の仮設住宅で、6回目の冬を迎えています（五輪の期間よりも長いぞ）。

*福島第一原発と第二原発を見学して

私は去年11月に、福島第一原発（1F 双葉町・大熊町）と第二原発（2F 富岡町・檜葉町）を見学することが出来ました。1Fは放射能が高いので、バスの中での見学になりました。1号機建屋では、囲われていた壁が撤去されて、爆発した建屋を直接に見ることが出来ました。想像を絶するような困難な環境の中で、廃炉の作業をしている東電の社員や作業員の人達の身を案じました。2Fでは、特別に建屋の中に入ることが出来ました。2Fには、1万本の使用済核燃料棒が水槽の中で保管されていて、冷却されています。最終処分場が建設されるまで、永久的に冷却し続けなければなりません。私は地下の原子炉本体を見て、その技術力に感心しました。しかし、人間の技術は、100%完全ではなく、安全ではありません。

【のどかな田園風景が広がる 木戸川と阿武隈山系（檜葉町）】



【檜葉町のデートコース（天神岬）】



【今年の抱負】

- ①原発被災地を巡るツアーを毎月実施する。1人の参加も大歓迎です。
- ②「双葉通信」 今年少し怒りを抑えて、被災地の復興に向けて歩んでいる人達の姿をもっと記事にする。
- ③ライフワークである「東日本大震災における震災遺構の保存について」の研究を続けて、福島県で1つでも多く震災遺構が残るようにしたい。
- ④仕事も人並みにする（この順番は重要度の順番ではない）